

# エコアクション21 環境経営レポート

2021年度（第14期）

（対象期間：2021年3月1日～2022年2月28日）



〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2



株式会社 三友金属

2022年 3月7日 発行

# 目次

1. 組織の概要	1
2. エコアクション 21 の対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. エコアクション 21 実施体制	3
5. 環境経営目標	
(1)二酸化炭素排出量のエネルギー別・サイト別排出構造	4
(2)環境経営目標	5
6. 環境経営計画	6
7. 環境経営目標の実施結果とその評価	
(1)環境経営目標の達成状況	7
(2)2021 年度事業活動におけるエネルギー使用状況	8
(3)各目標項目の経年実績変化	9
①二酸化炭素排出量の実績	9.10
②二酸化炭素排出量の削減	11
③廃棄物排出量の実績	11.12
④水使用量の実績	13
⑤グリーン購入推進の実績	14
⑥化学物質の適正使用・適正管理	14
⑦環境に配慮した自社製品の販売・拡大	15
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	16
9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	17.18
10.その他の環境活動	
(1)太陽光パネルの設置	19.20
(2)緊急避難訓練	21
11. 環境関連法規等の遵守結果	22
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	22

## 1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 三友金属 代表者 遠山 貴広

(2) 所在地

本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石 45-2

緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町 41-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部 古賀 裕子 TEL. 092-937-7700 FAX. 092-937-7701

担当者 総務部 小野山 明子 Mail:metal@sanyukinzoku.co.jp

(4) 事業内容

- ・建築資材用スチール、ステンレス、アルミ製品の設計、製作及び販売
- ・建築工事・屋根工事・鋼構造物工事・板金工事・内装仕上工事・建具工事
- ・サイン工事（看板サイン設計・施工）・電気工事・造園工事

(5) 事業の規模

売上額 2021年度（第14期） 8.3億円

区分	本社	工場	緑栄（造園事業部）	合計
従業員	21名	9名	0名	30名
延べ床面積	77 m <sup>2</sup>	865 m <sup>2</sup>	66 m <sup>2</sup>	1,008 m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 3月～翌年2月

(7) 法人設立年月日 2008年3月

(8) 資本金 5千万円

## 2. エコアクション21の対象範囲

エコアクション21の対象範囲は、以下のとおりです。

(1) 対象組織 株式会社 三友金属

本社・工場

緑栄（造園事業部）

(2) 対象活動

- ・建築資材用金物設計・製作・販売
- ・建築工事、屋根工事、鋼構造物工事、板金工事、内装仕上工事、建具工事
- ・サイン工事（看板サイン設計・施工）、電気工事、造園工事

(3) 対象外組織 なし（全組織、全活動を対象とする）

### 3. 環境経営方針

#### 基本理念

株式会社 三友金属は、すべての事業活動、製品から生じる環境への影響を的確に捉え、地球環境との調和・共生を目指します。

また、地球温暖化問題は、次世代にも及ぶ長期的で人類共通の問題であることを十分に認識し、社員一同で未来につながる地球環境づくりに取り組みます。

#### 行動指針

当社では環境経営システムを構築運用し、特に以下の事項について重点的に取り組み、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルに努めます。
3. 節水に努め、水資源の保全に努めます。
4. グリーン購入に努めます。
5. 化学物質を適正に使用・管理します。
6. 環境に配慮した製造、施工に努めます。
7. 当社に適用される環境に関する法規制等を遵守します。
8. 環境への取り組みは、毎年環境経営レポートに取りまとめ、広く外部にも公表します。

制定日 2016年7月29日

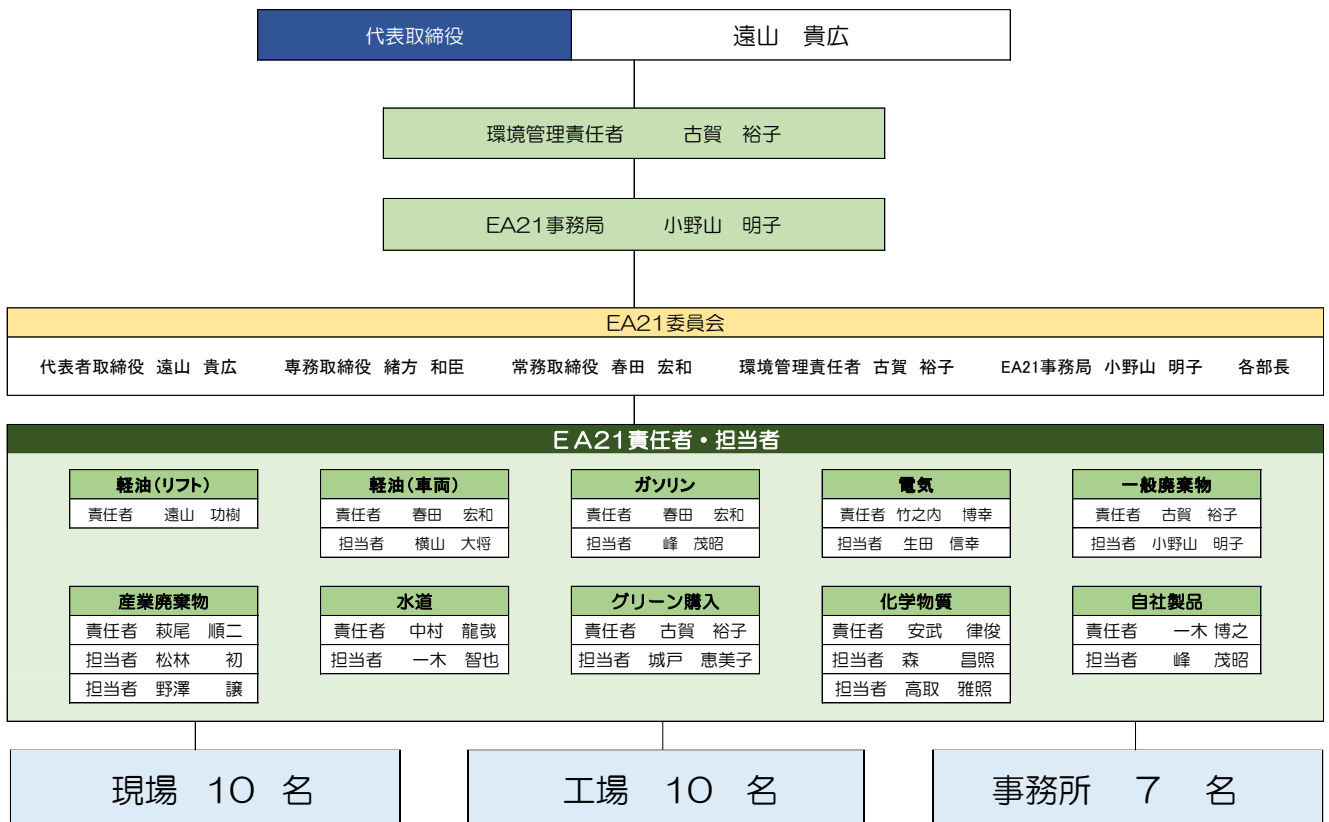


 株式会社 三友金属

代表取締役 遠山 貴広

## 4. EA21 実施体制

第14期  
2021年度・EA21実施体制



**環境経営システム 役割・責任・権限表**

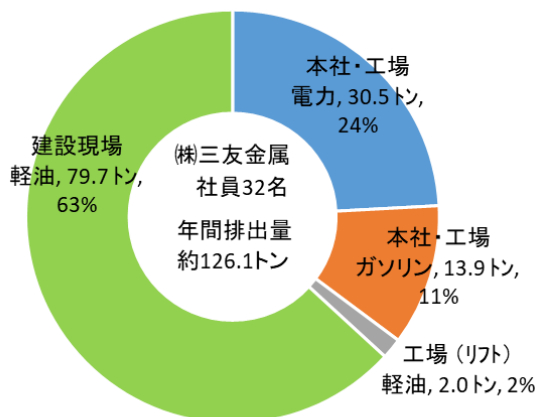
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する責任と権限を持つ。</li> <li>・環境管理責任者を任命する。</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書・環境レポートを承認する。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理をする。</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。</li> <li>・毎年環境経営目標・環境経営計画書を作成する。</li> <li>・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告する。</li> <li>・環境経営レポートの確認をする。</li> </ul>
EA21環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口として情報の収集と伝達を行う。</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月に1回開催し、取組状況を確認するとともに、内容について審議し問題点があれば、必要な是正措置の内容を決定する。</li> </ul>
EA21責任者・担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の実施状況を確認する。</li> <li>・建設工事における環境活動を推進する。</li> <li>・自部門に関連する法規制等を遵守する。</li> <li>・EA21委員会開催前に開催し、取組状況を確認するとともに、各部門の実施評価を行い問題点があれば、必要な是正処理の話し合いを行い、EA21委員会に報告をする。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。</li> <li>・問題点をEA21責任者・担当者会議に投げかける。</li> </ul>

## 5. 環境経営目標

### (1) 二酸化炭素排出量のエネルギー別・サイト別排出構造

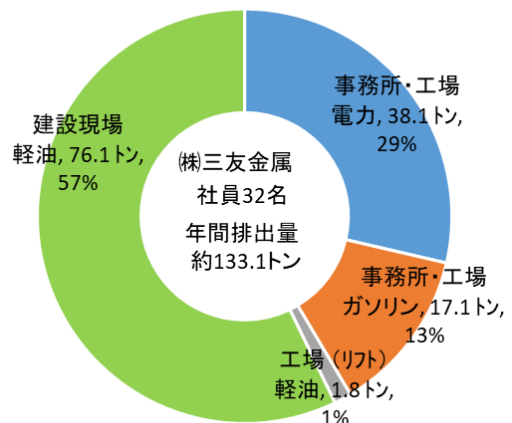
- ・弊社の二酸化炭素排出量を用途別でグラフ化すると次のようになりました。
- ・毎年同じような割合ですが、主に二酸化炭素が排出されているのは、建設現場の移動手段で使用する工事用車両の軽油です。来期は、ここの削減に重点を置きたいと思えます。
- ・2019年度と比べると、建設現場での排出量は約5%削減されましたが、事務所・工場の電力は約5%増加しました。
- ・2021年度は2020年に引き続き、新型コロナウイルス対策の影響(換気と空調機の併用運転)で電気代が増加した事が原因かと思われます。
- ・現場の軽油使用については少しずつですが減少し、社員の環境意識が高まってきた結果と思われ、次年度も引き続き、徹底して周知していきます。

2019年度 二酸化炭素排出量 [トン]



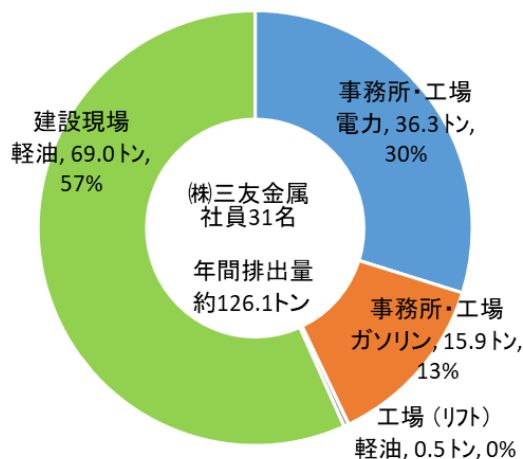
社員一人当たりの二酸化炭素年間排出量 約 3.84トン

2020年度 二酸化炭素排出量 [トン]



社員一人当たりの二酸化炭素年間排出量 約 4.1トン

2021年 二酸化炭素排出量 [トン]



社員一人当たりの二酸化炭素年間排出量 約 3.8トン

## (2) 環境経営目標

- ・環境経営目標は、以下の6項目13目標を設定し、2020年度を基準年とし、サイト区分（事務所・工場、建設現場、全社）として単年度目標、中長期目標を設定しました。
- ・弊社は設計から製造、施工まで一貫性を持って工事を請け負うため、二酸化炭素排出量が売上に大きく左右するので二酸化炭素排出量の削減目標は、2020年度の基準年の売上と各年度の売上見込みの比率で補正し設定しました。

$$\text{※二酸化炭素排出量の削減目標} = \text{基準年実績値} \times \text{削減率} \times \text{売上補正} \left( \frac{\text{当該年度の売上見込}}{\text{基準年売上}} \right)$$

### 環境経営目標(2021年度・14期)

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期間目標			
			2020年度 (2020.3~2021.2)	2021年度 (2021.3~2022.2)	2022年度 (2022.3~2023.2)	2023年度 (2023.3~2024.2)	2024年度 (2024.3~2025.2)	2025年度 (2025.3~2026.2)
※は売上増加倍数(当社の事業計画に基づく)			基準	1.036倍	※1.12倍	※1.18倍	※1.25倍	※1.31倍
1.二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO <sub>2</sub>	56,833	58,301 (△1%)	62,380 (△2%)	65,051 (△3%)	68,200 (△4%)	70,729 (△5%)
	建設現場	kg-CO <sub>2</sub>	74,773	76,705 (△1%)	82,071 (△2%)	85,585 (△3%)	89,728 (△4%)	93,055 (△5%)
	全社合計	kg-CO <sub>2</sub>	131,606	135,006	144,451	150,636	157,927	163,784
(1)軽油使用量の削減	事務所・工場	L	696	714 (△1%)	764 (△2%)	892 (△3%)	835 (△4%)	866 (△5%)
	建設現場	L	28,982	29,731 (△1%)	31,811 (△2%)	37,161 (△3%)	34,778 (△4%)	36,068 (△5%)
(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	7,368	7,558 (△1%)	8,087 (△2%)	9,447 (△3%)	8,842 (△4%)	9,169 (△5%)
(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	96,690	99,188 (△1%)	106,127 (△2%)	123,977 (△3%)	116,028 (△4%)	120,331 (△5%)
2.廃棄物排出量の削減								
(1)一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	t	1.67	1.65 (△1%)	1.64 (△2%)	1.62 (△3%)	1.60 (△4%)	1.59 (△5%)
(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	工場 建設現場	%	83.9	85	85	85	85	85
3 水使用量の削減	事務所・工場	m <sup>3</sup>	309	306 (△1%)	303 (△2%)	300 (△3%)	297 (△4%)	294 (△5%)
4 グリーン購入の推進(購入金額の割合)	事務所	%	61.0	62	62	62	62	62
5 化学物質の適正使用・適正管理	工場	kg	適正使用・適正管理に努めます					
6 環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	受注件数	215	217	219	222	224	226

備考) ①二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、大和ハウス工業㈱の2019年度調整後排出係数(0.400kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いた。

また、目標値は基準年売上に対する当該年度売上比率で補正しています。

②( )は基準年に対する削減率を示す。

③電気及び水の使用量は、メーターが事務所・工場と同一の為、「事務所・工場」で目標を設定した。

## 6. 環境経営計画

・環境経営目標達成のために、以下の具体的活動項目を定め、全社員で取り組みました。

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) 軽油使用量の削減	建設現場	春田	1 車内の整理整頓を行い、軽量化に努める。	横山	年間を通して
			2 タイヤの空気圧を定期的に確認する。		年間を通して
			3 車両点検をこまめに行いスムーズな運転を心がける。		年間を通して
(2) ガソリン使用量の削減	事務所・工場	春田	1 段取りの良い打合せにて、無駄な行動をしない。	峰	年間を通して
			2 急発進・急加速を行わない。		年間を通して
			3 タイヤの空気圧を定期的に確認する。		年間を通して
			4 ガソリン使用量削減の為、電気自動車の購入を考える。		年間を通して
(3) 電気使用量の削減	事務所・工場	竹之内	1 室温は「夏25～28度」「冬20～26度」の範囲で、適宜過剰にならないように努める。	生田	冷房時期（6月～9月）
			2 休憩室・トイレなどの電灯は使用時のみ稼働させる。		年間を通して
			3 電気機器は設定を見直し、適切な値の元取り扱う。		年間を通して
			4 パソコンのスリープ・主電源OFFは条件を明確にし、意識して行う。		年間を通して
			5 フォークリフトの急発進・急加速を行わない。		年間を通して
				遠山	

### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) 一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	古賀	1 分別の徹底によるゴミの減量。	小野山	年間を通して
			2 消耗品は詰め替え・補充ができる製品を優先する。		年間を通して
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上 (リサイクル率85%)	工場 建設現場	萩尾	1 現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。	松林 野澤	年間を通して
			2 収集時での分別の確認と報告を徹底する。		年間を通して

### 3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) 水使用量の削減	事務所・工場	中村 (龍)	1 水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。	一木 (智)	年間を通して
			2 水漏れ等見つけた場合は早急に周知・処置する。		年間を通して

### 4. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) グリーン購入の推進	事務所	古賀	1 エコ商品の対象商品を積極的に取り入れる。	城戸	年間を通して
			2 エコ商品の購入金額を記録。		年間を通して

### 5. 化学物質の適正使用・適正管理

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) 化学物質の適正使用 と適正管理	工場	安武	1 各薬品を適切に管理し、無駄な購入、使用を減らす。	森 高取	年間を通して
			2 使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。		年間を通して

### 6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標	サイト区分	責任者	活動項目	担当者	スケジュール
(1) 環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	一木	1 ホームページの商品紹介を拡充させる。	峰	年間を通して
			2 得意先・仕入先を開拓していく。		年間を通して



## 7. 環境経営目標の実施結果とその評価

### (1) 環境経営目標の達成状況

- ・2021年度における環境経営目標の達成状況は以下のとおりです。
- ・設定した6項目13目標のうち、3項目8目標で目標を達成できました。
- ・水使用量とグリーン購入は目標達成率が60%台ですが、水使用量の原因としては弊社、立体駐車場新築工事の際、工事で使用したのと、水道管破損の為に使用量が大幅に増加した外的要因のために未達成です。
- ・グリーン購入の未達成の原因として、消耗品以外の備品等を購入したことが挙げられます。
- ・事務所・工場の電気と廃棄物関係は目標達成率が90%前後あり、今後は達成に向けて取り組みを進めていきます。

環境目標	サイト区分	単位	基準年	2021年度 (2021年3月～2022年2月)		目標 達成率	目標 達成判定
			2020年度 (R2.3～ R4.2) 実績値	目標値	実績値		
1.二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO <sub>2</sub>	56,833	58,301	56,942	102.0%	○
	建設現場	kg-CO <sub>2</sub>	74,773	76,705	69,048	111%	○
	全社合計	kg-CO <sub>2</sub>	131,606	135,006	125,990	107%	○
(1)軽油使用量の削減	工場	L	696	714	176	406.0%	◎
	建設現場	L	28,982	29,731	26,762	111%	○
(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	7,368	7,558	6,867	110%	○
(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	96,690	99,188	101,393	98%	△
<b>2.廃棄物排出量の削減</b>							
(1)一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	1,673	1,656	1,860	89%	△
(2)産業廃棄物の リサイクル率向上	工場 建設現場	%	83.9	85	87	103%	○
3 水使用量の削減	事務所・工場	m <sup>3</sup>	309	306	456	67%	×
4 グリーン購入の推進 (購入金額の割合)	事務所	%	61	62	40	65%	×
5 化学物質の 適正使用・適正管理	工場	kg	化学物質の 適正使用量・適正管理に努めます				○
6 環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	215	217	257	118%	○

備考) ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、大和ハウス工業㈱の2019年度調整後排出係数(0.400kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いた。

- ・目標達成率の算定方法 削減目標の場合：目標値/実績値×100 [%]  
増加目標の場合：実績値/目標値×100 [%]

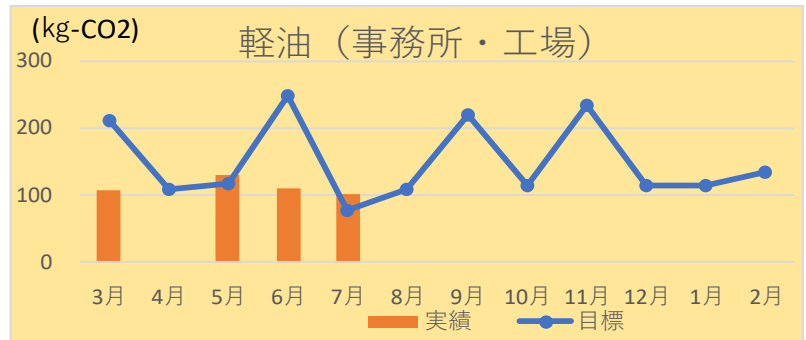
・目標達成判定の区分定義

- ◎：120%以上
- ：100%以上120%未満
- △：80%以上100%未満
- ×：80%未満
- －：判断不可

## (2) 2021年度事業活動におけるエネルギー使用状況

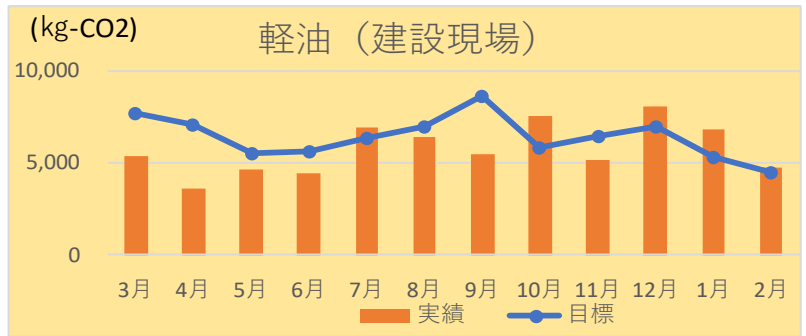
### A. 軽油(事務所・工事)

- ・事務所・工場での軽油使用は工場のフォークリフトです。
- ・8月以降は電動フォークリフトに変更しており軽油の使用が0となります。



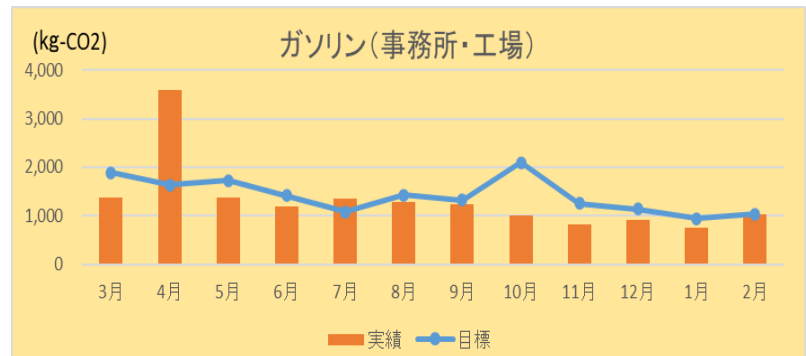
### B. 軽油(現場)

- ・ハイエース6台、トラック6台の軽油量です。
- ・現場件数に比例して使用量が増加しています。
- ・今後の課題として解決策を探っていきます。



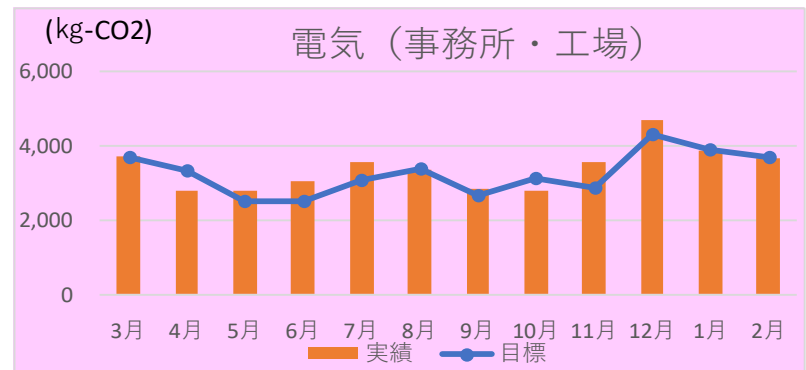
### C. ガソリン(事務所・工場)

- ・営業車のプリウス3台の燃料です。
- ・4月は打合せの件数が多くなったため増加しています。
- ・今後は電気自動車の検討もあるので来期はガソリン使用量が減少する見込みです。



### D. 電気(事務所・工場)

- ・冬季からの使用が増加していますが、空気清浄機や加湿器などの使用によるものとみられます。
- ・コロナ対策の一環ともなるので使用頻度を検討する必要があります。



### (3)各目標項目の経年実績変化

#### ①二酸化炭素排出量の実績(経年)

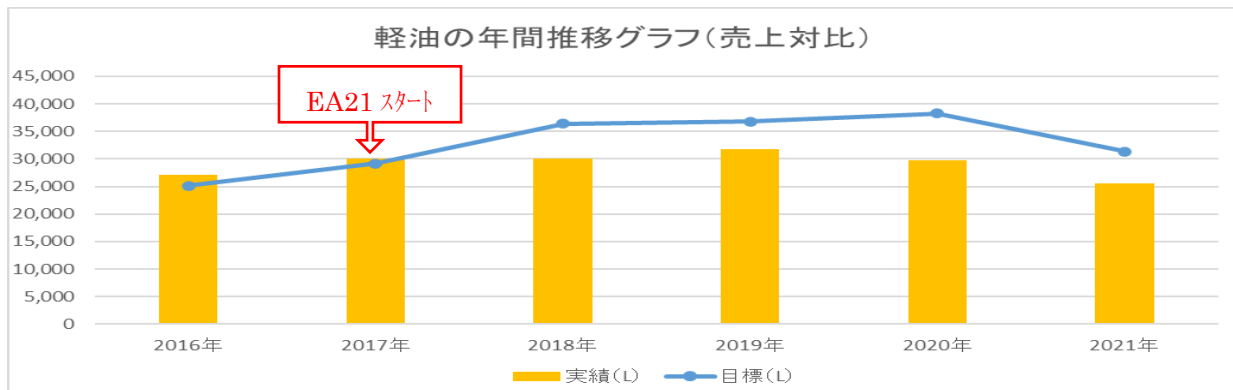
##### A. 軽油使用量の削減(サイト:全体)

- ・事務所・工場での軽油使用はリフトの燃料です。
- ・リフトの燃料を8月から軽油から電気へと変更しました。  
そのため、軽油の消費は削減できています。
- ・建設現場での軽油使用は、ハイエース(6台)やトラック(5台)の燃料です。
- ・現場への移動距離などが大きく影響しますが、荷物の積載量に係る車内の整理整頓や不要な荷物の削減等の取り組みも継続していきます。



##### 軽油の年間推移グラフ(売上対比)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
目標 (L)	25,128	29,203	36,403	36,820	38,240	30,445
実績 (L)	27,114	30,069	29,994	31,694	29,678	25,554

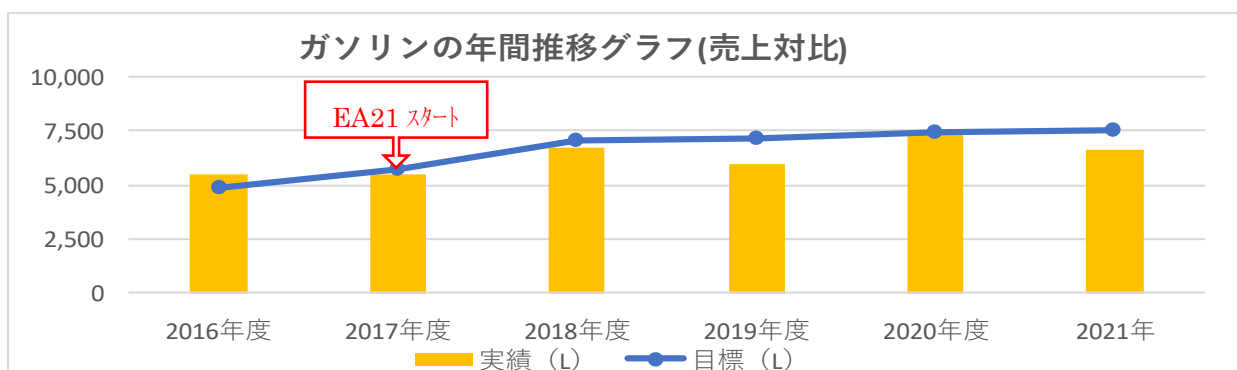


##### B. ガソリン使用量の削減(サイト:全体)

- ・ガソリンにおいては営業車(プリウス)3台分の燃料です。
- ・昨年と比べると台数が1台分減った為、使用量も比例して減少しています。
- ・今後も打合せの回数を減らすなど取り組みを継続していきます。
- ・また、電気自動車の購入などを検討して社内全体で使用量削減の取り組みを行います。

##### ガソリンの年間推移グラフ(売上対比)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年
目標 (L)	4,889	5,681	7,081	7,164	7,447	7,558
実績 (L)	5,530	5,519	6,711	6,004	7,368	6,603

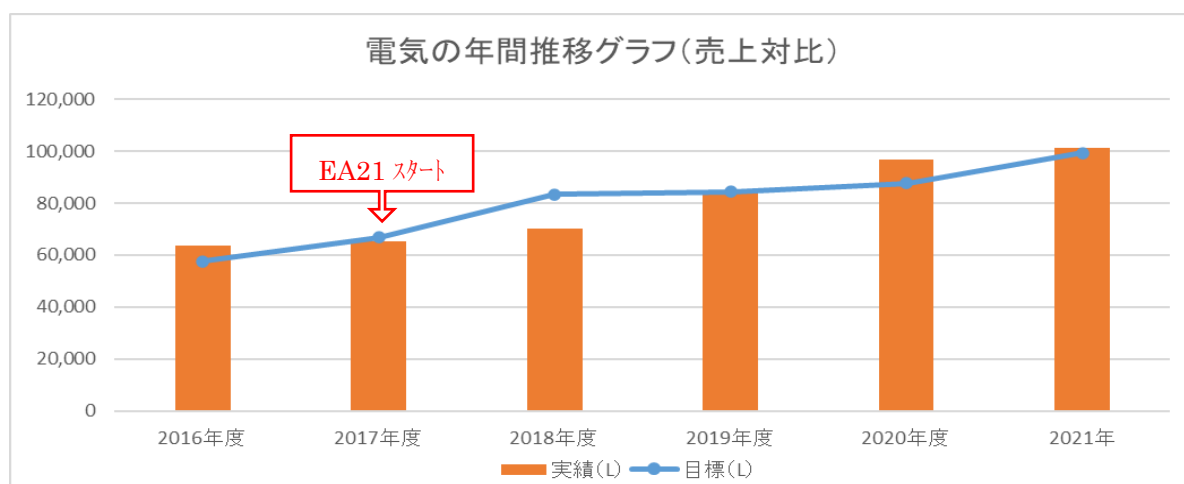


### C. 電気使用量の削減(サイト:全体)

- ・電気の使用量は、売上あたりにしても目標達成できていません。
- ・基準年より機械設備が増えたことや新型コロナウイルス対策のために、加湿空気清浄機を各場所に5台設置したことが影響していると思います。
- ・しかし、コロナ禍はしばらく続きそうですが、安心・安全な職場作りの為にも、目標値の見直し等対策を考えていきたいと思っています。

#### 電気の年間推移グラフ (売上対比)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年
目標 (kWh)	57,557	66,885	83,366	84,327	87,651	99,189
実績 (kWh)	63,606	65,368	70,009	85,080	96,690	101,393



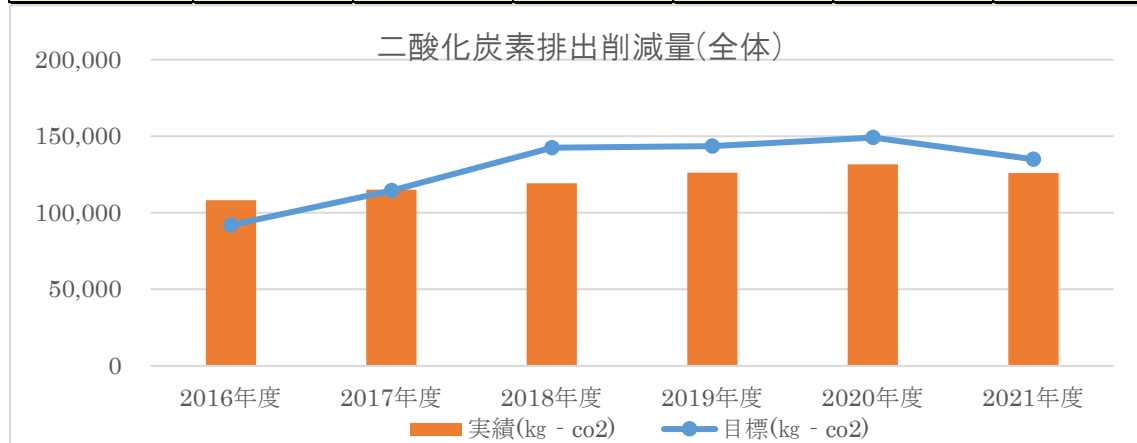
- ・引き続き、事務所や休憩室に温度計を設置し、温度設定を心掛けていきます。
- ・空気清浄機加湿器を使用している分、エアコンの使用を抑えたり工夫をしていきます。

## D. 二酸化炭素排出量の削減(サイト：全体)

2017年にエコアクション21の取組を開始し、少しずつですが取組の結果がでてきているように思えます。弊社では一番エネルギー排出量の多い軽油削減により一層力を入れていきます。

### 二酸化炭素排出量年間推移グラフ(売上対比)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標(kg - co2)	91,954	114,511	142,552	143,456	149,111	135,006
実績(kg - co2)	108,226	115,126	119,249	126,151	131,606	125,991



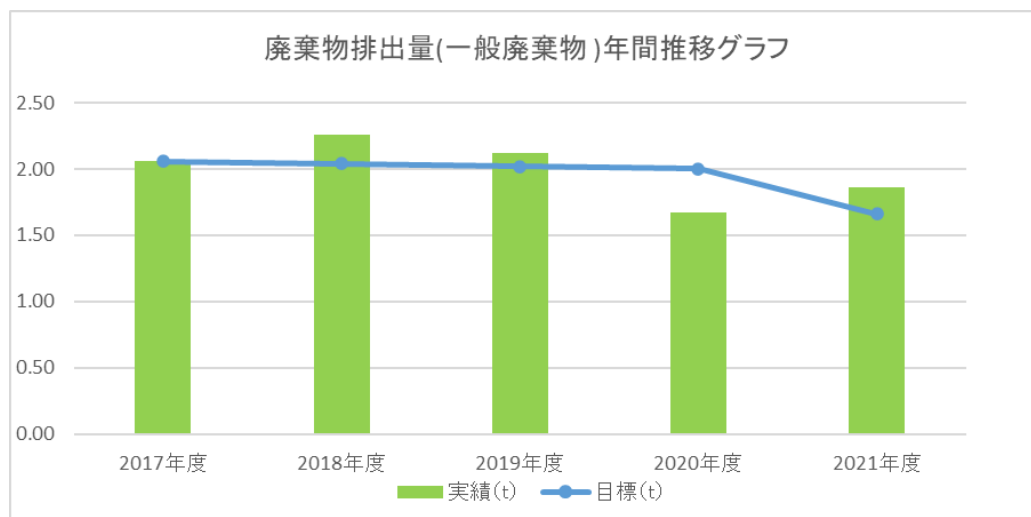
## ②廃棄物排出量の実績(全体)

### A. 廃棄物排出量

本年度は、一般廃棄物の排出量は目標を達成できませんでした。引き続き、一般廃棄物の集計をし、更に削減できるよう取り組みたいと思います。

### 廃棄物排出量(一般廃棄物)年間推移グラフ

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標(t)	2.06	2.04	2.02	2.00	1.66
実績(t)	2.06	2.26	2.12	1.67	1.86

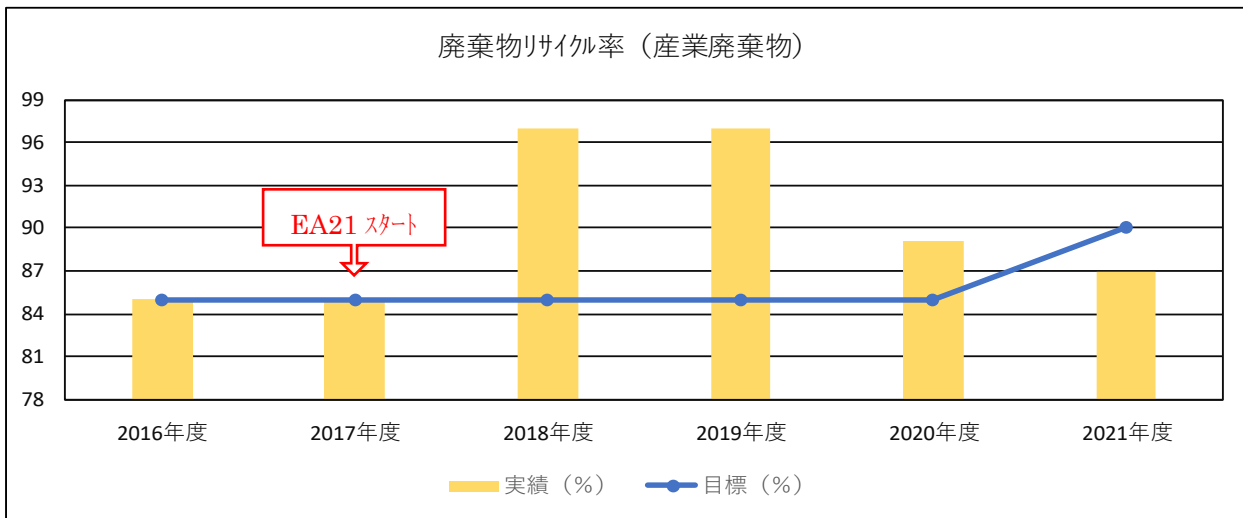


## B. 廃棄物排出量（産業廃棄物）

社員の皆さんの環境意識が高まり、産業廃棄物の仕分けが浸透してきてましたが、リサイクル率は前年度より減少してしまいました。  
本年度は数字に結びつくような活動を行います。

### 廃棄物リサイクル率（産業廃棄物）の年間推移グラフ

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標 (%)	85	85	85	85	85	90
実績 (%)	85	85	97	97	89	87



**Reduce（排出抑制）**

**Reuse（再利用）**

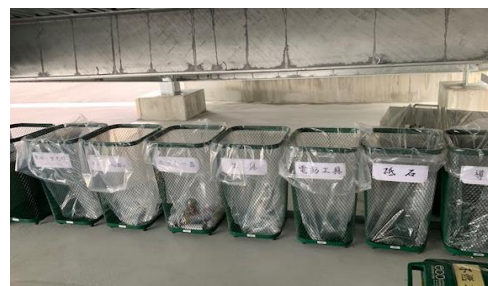
**Recycle（再生利用）**

の3Rを心掛けていきます。

分別 = 整理整頓

ゴミの分別表もSDGSを盛り込んだ看板にしました。

分別も更に細分化できるようゴミ箱等の設置も行い社内全体で取り組んでいます。

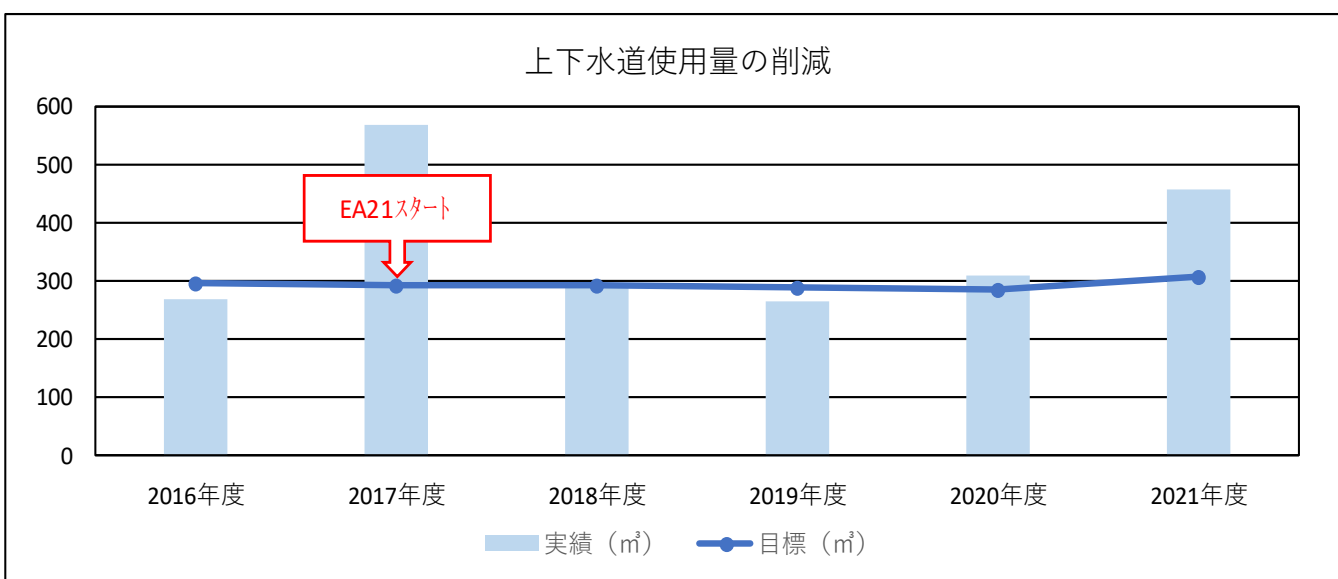


### ③水使用量の実績(事務所・工場)

- ・2021年度は立体駐車場施工の際、水道管破損のため使用量が大幅に増加しています。水漏れに気づかなかったことが原因の一つとして挙げられます。
- ・節水は日々心掛けているので上記以外では成果が出ています。
- ・2017年度のグラフが突出している原因は、普段使わない水道栓の漏れに気づかなかった為です。
- ・改めて、蛇口の閉め忘れなどないように周知しました。

上下水道使用量の年間推移グラフ

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標 (m <sup>3</sup> )	297	294	291	288	285	306
実績 (m <sup>3</sup> )	267	567	294	264	309	456



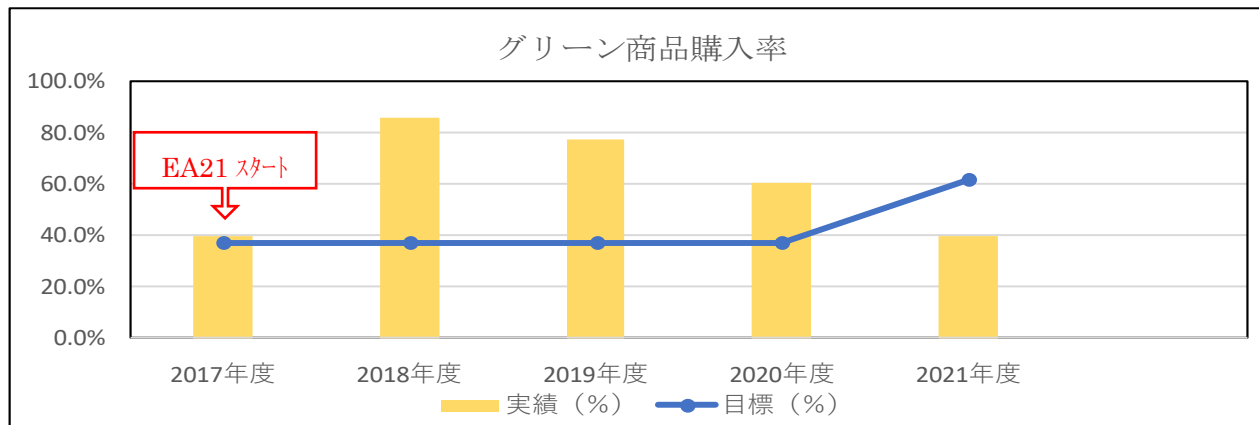
←水道メーター確認中

#### ④グリーン購入推進の実績(事務所・工場)

- ・グリーン購入を始めた、2016年から徐々に増え始めたグリーン購入率ですが、商品購入率は、昨年よりは下ってしまいました。
- ・引き続き、グリーン商品を意識した購入を進めます。

グリーン購入推進の年間推移グラフ

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標 (%)	37%	37%	37%	37%	62%
実績 (%)	40.0%	85.6%	77.2%	60.6%	40.0%



#### ⑤化学物質の適正使用・適正管理の実績(サイト:事務所・工場)

- ・製作段階で使用する化学物質を含む塗料の購入量を管理しています。
- ・使用量の把握が難しいため、使用する分だけ購入し、年間購入量を記録しています。  
又、管理表に安全データシートを管理、使用上の注意など掲示し、安全対策を心掛けています。

化学物質の適正使用・適正管理	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
各薬品を適切に管理し、無駄な購入、使用を減らす。	○	○	○	○	○
使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。	○	○	○	○	○



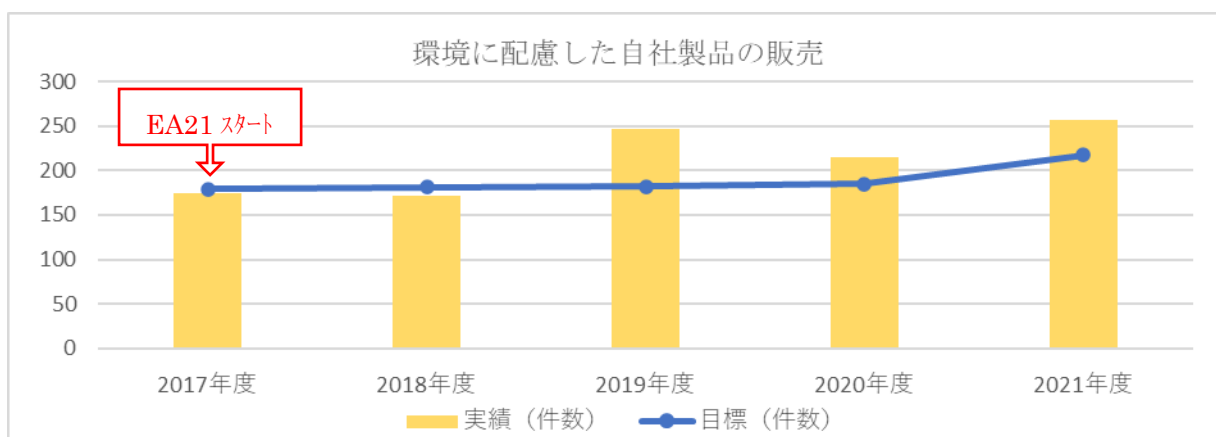


## ⑥環境に配慮した自社製品の販売・拡大の実績

- ・設計から製造、施工まで一貫性を持って請け負う弊社の強みを生かし、建築物の耐久性向上の為の提案などを行っています。
- ・また、地域環境に配慮した振動・騒音の軽減にも取組。現場では産廃0を目標とし、各現場で分別。5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の推進を行っています。

### 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
目標（件数）	179	181	182	185	217
実績（件数）	175	171	247	215	257



エコアクションの次年度の取組を責任者・担当者を集めてのエコ会議にて周知しました。



2021年6月25日

## 8.環境経営計画の取組結果とその評価

- ・環境経営計画の取組結果とその評価は以下のとおりです。
- ・各目標達成のため設定した活動項目は概ね良好な結果でした。
- ・目標未達項目がみられますので、現活動計画で充分なのかを今後検討していきます。

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) 軽油使用量の削減	事務所・工場	◎	急発進・急加速を行わない。	○
	建設現場	○	車内の整理整頓を行い、軽量化に努める。	△
			アイドリングストップ手順を決め、実行する。 タイヤの空気圧を定期的に確認する。	○
(2) ガソリン使用量の削減	事務所・工場	○	段取りの良い打合せにて、無駄な行動をしない。	○
			急発進・急加速を行わない。	○
			タイヤの空気圧を定期的に確認する。	△
(3) 電気使用量の削減	事務所・工場	△	室温は「夏25～28度」「冬20～26度」の範囲で、適宜過剰にならないように努める。	△
			休憩室・トイレなどの電灯は使用時のみ稼働させる。	○
			電気機器は設定を見直し、適切な値の元取り扱う。	○
			パソコンのスリープ・主電源OFFは条件を明確にし、意識して行う。	○

### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) 一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	△	分別の徹底によるゴミの減量。	○
			消耗品は詰め替え・補充ができる製品を優先する。	○
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上 (リサイクル率85%)	工場・建設現場	○	現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。	○
			収集時での分別の確認と報告を徹底する。	○

### 3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) 水使用量の削減	事務所・工場	×	水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。	○
			手洗い時の流し放しなど、声掛けにより個人の意識を高める。	○

### 4. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) グリーン購入の推進	事務所	×	エコ商品の対象商品を積極的に取り入れる。	○
			エコ商品の購入金額を記録。	○

### 5. 化学物質の適正使用・適正管理

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) 化学物質の適正使用 と適正管理	工場	○	各薬品を適切に管理し、無駄な購入、使用を減らす。	○
			使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。	○

### 6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標	サイト区分	目標達成状況	活動項目	取組判定
(1) 環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	○	ホームページの商品紹介を拡充させる。	○
			営業先を開拓していく。	○

備考) 目標達成状況判断区分 ◎: 120%以上 ○: 100%以上 120%未満 △: 80%以上 100%未満 ×: 80%未満 -: 判定不可

取組状況判断区分 ◎: よく実行されている ○: 実行されている △: 実行されているが十分ではない ×: 実行されていない  
-: 判定できない、該当しない

# 9. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

## (1) 環境経営目標

・次年度の環境経営目標は今まで通り 6 項目 13 目標で設定した中長期目標(2022 年度)を適用します。

### 環境経営目標(2022年度・15期)

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期間目標			
			2020年度 (2020.3~2021.2)	2021年度 (2021.3~2022.2)	2022年度 (2022.3~2023.2)	2023年度 (2023.3~2024.2)	2024年度 (2024.3~2025.2)	2025年度 (2025.3~2026.2)
※は売上増加倍数(当社の事業計画に基づく)			基準	1.036倍	※1.12倍	※1.18倍	※1.25倍	※1.31倍
1. 二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO <sub>2</sub>	56,833	58,301 (△1%)	62,380 (△2%)	65,051 (△3%)	68,200 (△4%)	70,729 (△5%)
	建設現場	kg-CO <sub>2</sub>	74,773	76,705 (△1%)	82,071 (△2%)	85,585 (△3%)	89,728 (△4%)	93,055 (△5%)
	全社合計	kg-CO <sub>2</sub>	131,606	135,006	144,451	150,636	157,927	163,784
(1) 軽油使用量の削減	事務所・工場	L	696	714 (△1%)	764 (△2%)	892 (△3%)	835 (△4%)	866 (△5%)
	建設現場	L	28,982	29,731 (△1%)	31,811 (△2%)	37,161 (△3%)	34,778 (△4%)	36,068 (△5%)
(2) ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	7,368	7,558 (△1%)	8,087 (△2%)	9,447 (△3%)	8,842 (△4%)	9,169 (△5%)
(3) 電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	96,690	99,188 (△1%)	106,127 (△2%)	123,977 (△3%)	116,028 (△4%)	120,331 (△5%)
2. 廃棄物排出量の削減								
(1) 一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	t	1.67	1.65 (△1%)	1.64 (△2%)	1.62 (△3%)	1.60 (△4%)	1.59 (△5%)
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上	工場 建設現場	%	83.9	85	85	85	85	85
3 水使用量の削減	事務所・工場	m <sup>3</sup>	309	306 (△1%)	303 (△2%)	300 (△3%)	297 (△4%)	294 (△5%)
4 グリーン購入の推進(購入金額の割合)	事務所	%	61.0	62	62	62	62	62
5 化学物質の適正使用・適正管理	工場	kg	適正使用・適正管理に努めます					
6 環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	受注件数	215	217	219	222	224	226

備考) ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、大和ハウス工業㈱の2019年度調整後排出係数(0.400kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いた。  
 ・二酸化炭素排出量の目標値は、基準年売上に対する延び率(売上増加倍率)を考慮して以下の式で設定した。  

$$\text{二酸化炭素排出量の削減目標} = \text{基準年実績値} \times \text{削減率} \times \text{売上補正} \left( \frac{\text{当該年の売上見込}}{\text{基準年売上}} \right)$$
  
 ・( )は基準年に対する削減率を示す。  
 ・電気及び水の使用量は、メーターが事務所・工場と同一の為、「事務所・工場」で目標を設定した。

## (2)環境経営計画

次年度の環境経営計画は、以下のとおりで見直し点としては、ガソリン使用量削減の『(2)-④電気自動車購入を考える』を項目に追加しました。

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	軽油使用量の削減	建設現場	1	車内の整理整頓を行い、軽量化に努める。
			2	タイヤの空気圧を定期的に確認する。
			3	車両点検をこまめに行いスムーズな運転を心がける。
(2)	ガソリン使用量の削減	事務所・工場	1	段取りの良い打合せにて、無駄な行動をしない。
			2	急発進・急加速を行わない。
			3	タイヤの空気圧を定期的に確認する。
			4	電気自動車購入を考える。
(3)	電気使用量の削減	事務所・工場	1	室温は「夏25～28度」「冬20～26度」の範囲で、適宜過剰にならないように努める。
			2	休憩室・トイレなどの電灯は使用時のみ稼働させる。
			3	電気機器は設定を見直し、適切な値の元取り扱う。
			4	パソコンのスリープ・主電源OFFは条件を明確にし、意識して行う。

### 2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	1	分別の徹底によるゴミの減量。
			2	消耗品は詰め替え・補充ができる製品を優先する。
(2)	産業廃棄物のリサイクル率向上 (リサイクル率85%)	工場 建設現場	1	現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。
			2	収集時での分別の確認と報告を徹底する。

### 3. 水使用量の削減

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	水使用量の削減	事務所・工場	1	水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。
			2	水漏れ等見つけた場合は早急に周知・処置する。

### 4. グリーン購入の推進

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	グリーン購入の推進	事務所	1	エコ商品の対象商品を積極的に取り入れる。
			2	エコ商品の購入金額を記録。

### 5. 化学物質の適正使用・適正管理

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	化学物質の適正使用 と適正管理	工場	1	各薬品を適切に管理し、無駄な購入、使用を減らす。
			2	使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。

### 6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標		サイト区分	活動項目	
(1)	環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	1	ホームページの商品紹介を拡充させる。
			2	得意先・仕入先を開拓していく。

## 10. その他の環境活動

### (1) 太陽光パネルの設置

2013年11月に工場の広大な屋根を生かして、209枚の太陽光パネルを設置し、年間約39,461kWhの発電になっています。

- ・太陽光は無限のエネルギーであり、設置する事だけで発電できる事やCO2や有害物質を一切排出しない事です。
- ・弊社では、定期的に清掃を行い、発電を妨げないように努めています。



#### 太陽光設備の概要

連系する電力系統: 高圧一般配電線(三相3線、6.6kV、60Hz)

発電設備の種類: 太陽電池発電所

太陽電池容量: 52.25kW

パワーコンディショナ容量: 45kW(10kW×4台、5kW×1台)

(モジュール板 209枚 H1650 W992) 1枚あたり 250W出力

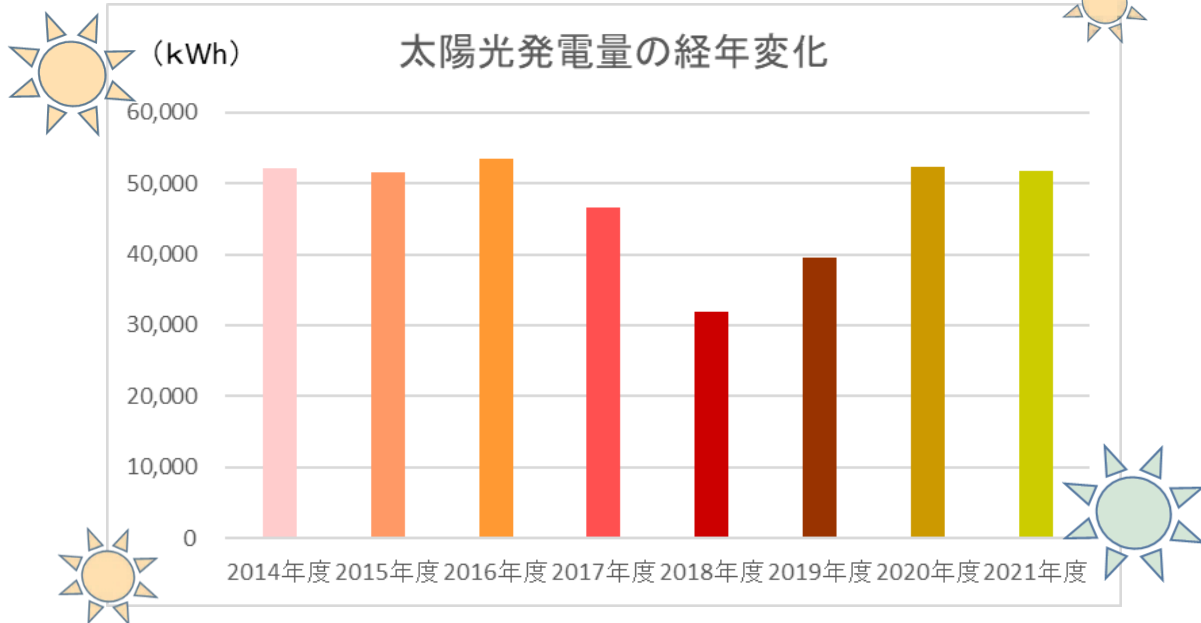
逆潮流の有無: 逆潮流有り

設置年月日: 2013年11月15日

2021年度の発電量 = 51,685kWh

## 太陽光発電量(kWh)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
3月	4,477	4,283	4,894	5,041	2,360	2,206	4,645	4,313
4月	5,390	5,792	4,907	5,177	3,135	3,131	5,200	7,040
5月	7,367	6,529	6,816	6,709	3,424	2,290	7,256	4,823
6月	5,438	5,055	5,702	6,086	3,600	3,632	5,407	5,560
7月	5,057	5,113	5,612	4,133	3,646	3,900	3,910	5,670
8月	4,114	6,030	7,131	5,323	4,739	4,892	5,334	3,771
9月	4,714	4,969	4,001	3,253	2,344	4,321	4,741	4,828
10月	4,706	4,648	3,099	2,469	2,358	3,864	4,442	4,034
11月	3,099	2,803	3,159	2,653	2,033	3,303	3,331	3,104
12月	1,872	1,688	2,198	1,553	989	2,236	2,182	2,213
1月	2,864	2,013	2,776	1,688	1,669	2,375	2,425	3,118
2月	2,974	2,724	3,132	2,473	1,641	3,311	3,395	3,211
合計	52,072	51,647	53,427	46,558	31,938	39,461	52,268	51,685



- ・持続性可能な社会を目指すうえで、化石燃料に頼らない再生可能エネルギーの太陽光発電は二酸化炭素削減において有効な取組です。
- ・また、世界的に見ても二酸化炭素を削減する取組は、国の政策としても取り組まれており、さらに意義のあるものだと感じています。

※2018年～2019年5月まで、太陽光発電の機器のトラブルに気づかず、発電量が落ちていましたが、2019年6月に修理を依頼し2020年度からは初年度の発電量まで回復し、本年度も安定して発電が行われています。

## (2) 緊急避難訓練

2021年3月11日に緊急避難訓練を行いました。

想定した緊急事態

工場トイレ付近からの火災

対応策

### 1. 火災の対応策

- ① 必要な備品など  
粉末消火器設置場所へ『消火器設備』と表記
- ② 緊急事態連絡  
消防署119番への通報

### 2. 具体的な対応策

- ① 第一発見者は、直ちに付近にいる人に知らせると共に粉末消火器で初期消火活動を行う。  
→ 第一発見者
- ② 皆に火災を知らせ『緊急事態連絡』  
消防署119番へ通報する。  
→ 第一発見者及び近くにいる者
- ③ 全従業員は、初期消火可能と判断される場合は、消火器にて初期消火する。  
→ 全従業員
- ④ 二次火災を防ぐ為、可能なら電源盤の電源を遮断する。不可能ならば避難する。

### 3. 対応処置手順等

- ・避難場所は建物西側とし、人員の確認及びけが人の情報を報告する。

※外出先での火災等の災害に遭遇した場合は、避難終了後、事務所に所在と身の安全を報告する。



工場トイレ付近より出火と仮定  
初期消火活動にあたる

2021年3月11日

## 11. 環境関連法規等の遵守結果

- ・2020年度（2020.3～2021.2）の事業活動で遵守すべき法令は以下のとおりで、遵守確認の結果、法令違反はありませんでした。
- ・また外部からの苦情や法令違反の指摘も過去3年間ありませんでした。

法令名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物（委託）	○
	産業廃棄物（排出責任者）	○
	情報処理センターへの登録・確認	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実地	○
労働安全衛生法	健康診断の実施	○
地球温暖化対策推進法	事業者の責務	○
グリーン購入法	事業者及び国民の責務	○

備考) 遵守状況の判定 ○：遵守 ×：不順守 ー：該当なし

## 12. 代表者による全体の評価と見直しの結果

### (1) 取組の全体評価

エコアクション活動を開始してから6年目となります。

年間のスケジュールにも慣れ、取組事態は実施されており、環境経営システムは少しずつですが有効に機能していると判断します。

### (2) 見直しの経過

本年度、中長期の環境経営目標の見直しを実施したため、当面はこの計画を継続し、その運用成績から必要に応じて見直しを行っていきます。



代表取締役 遠山 貴広